



新年度を迎えて

広島商船高等専門学校産業振興交流会会長 松浦 明治



「地域に愛され、地域に根ざした高等教育機関」としての広島商船高等専門学校の人的・物的資源を有効に活用する一方で、同校を微力ながら地域で支えていこうと昨年「産業振興交流会」を設立したところです。

昨年は設立したばかりで右も左もわからず、走ってきたきらいはあります。設立総会に続き役員体制も整い、具体的な事業は部会で進めることとし、地域イノベーション推進事業、産業振興事業、情報発信事業の3部会を立ち上げました。

各部会のひたむきな取り組みと熱意により、7月には、(株)コア 井手祥司前社長を迎え雇用促進キャリアセミナーを開催しました。

12月には、今日的課題でもある環境に優しい船をテーマに「電気推進船(スーパーエコシップ)」を取り上げ、地元造船・海運関係者の協力を得て、公開授業・パネルディスカッションを開催し多くの町民の参加も得て、盛会裏に終えることができました。

2月には、竹原市において商船高専の学生を中心に、ビジネスチャンスを掴み起業することをテーマとした起業セミナーを後援するなど、実践的な取り組みもしてまいりました。

一方、ニュースレターの発行、シンボルマークの募集・採用など、本会の継続の礎になる事業も地道に進めてきたところであります。

しかし、会員の皆様が期待する企業ニーズと学校が持つ技術シーズの融合による新しい価値観の創造の面では、物足りないところがあったと思います。

今後は、この点に充分留意し一部外部資金の導入も視野に入れながら産学官連携を進め、学校共々地域発展に積極的に取り組んでいく所存であります。

皆様方の一層のご支援を賜りたいと存じます。

シンボルマーク・デザインコンペ

広島商船高等専門学校産業振興交流会は地域社会や産業界との連携を深め、21世紀を担う人材の育成を行うとともに、産業技術と地域の発展に大きく貢献できると感じていただけるシンボルマーク・デザインコンペを行いました。

学生の皆さんから、21点の作品が集まりました。どのデザインも大変すばらしく選考に時間を要しましたが、最優秀賞1点、優秀賞3点の計4点が決定しました。

➔ 最優秀賞 (採用作品)

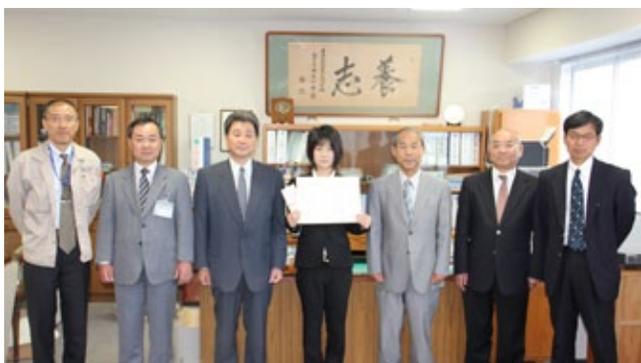
檜崎 綾夏 (流通情報工学科・5年)

➔ 優秀賞

山本 祐弥 (産業システム専攻・卒業生)

杉本 敦志 (電子制御工学科・卒業生)

上西 奨悟 (商船学科・4年)



最優秀賞デザインコンセプト

3つの大きい葉は、産業界、地元自治体、広島商船高専の三位一体を表わしています。また、葉の形をハート型にすることにより、事業だけでなく、人同士も三位一体だということを表わしています。

小さい葉は、いまはまだ小さい地域イノベーションや産学官連携を表現し、それを育てて大きな葉にして四つ葉にしていこうという意味があります。

受賞者のよろこび

最優秀賞に選ばれ、うれしく思います。産業振興交流会がこのシンボルマークの意味しているような会になりますよう心から期待します。
〈檜崎 綾夏〉

事業報告

<産業振興事業：2009年7月17日>

雇用促進キャリアセミナー



このセミナーは、不況の影響で雇用情勢の厳しいなかを乗り切ろうと、株式会社コア前社長の井手祥司さんに「企業経営者からみた高専技術への期待と人材雇用」と題して講演を頂きました。井手さんは大崎上島のご出身で30年前に12人で起業したチャレンジ精神を語り、「不況はチャンス、専門性を磨き、高い志しを持って」と激励しました。

本学の視聴覚教室で4・5年生や教職員、一般住民ら130人が聴講し、会場外に設置されたモニターにも多くの人が集まりました。

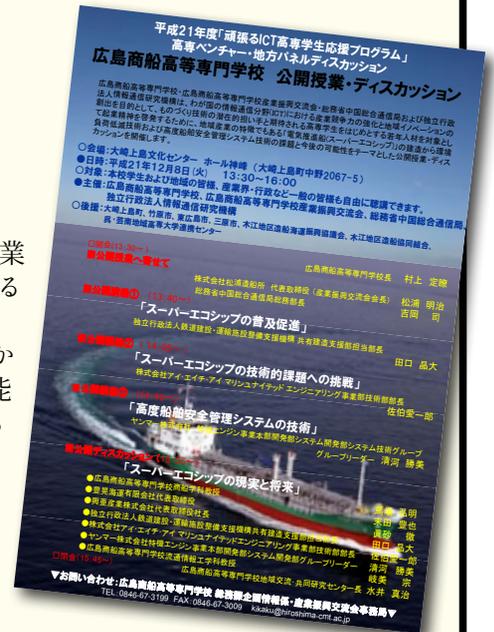
<産業振興事業：2009年12月8日>

公開授業・ディスカッション

この公開授業・ディスカッションは、高専学生をはじめとする若手人材に対する起業精神の啓発を目的とした総務省中国総合通信局と(独)情報通信研究機構の「頑張るICT高専学生応援プログラム」の補助を受けて開催したものです。

テーマは、地域産業の特徴でもある「スーパーエコシップ(電気推進船)」の建造からみた環境負荷低減技術および高度船舶安全管理システム技術の課題と今後の可能性です。公開授業では、スーパーエコシップの普及および技術革新に取り組まれている3人の講師(鉄道建設・運輸施設整備支援機構の田口晶大さん、アイ・エイチ・アイマリンユナイテッドエンジニアリングの佐伯愛一郎さん、ヤンマーの清河勝美さん)が講義を行いました。また、公開ディスカッションでは、豊見海運(船主)の末田豊也さん、興亜産業(造船)の眞砂徹さん、商船学科の馬場弘明教授が加わり、流通情報工学科の岐美宗教授のコーディネートで、スーパーエコシップの現実と将来について、普及の共通認識および課題や今後の展開についての議論を交わしました。

大崎上島文化センターのホール神峰には、学生140人、産業振興交流会会員20人以上にも一般町民など40人が参加し、テーマへの関心の高さが伺えました。



産業振興交流会ホームページが完成しました!

産業振興交流会のホームページができました。ホームページでは、イベントや各種お知らせなどを案内します。

なお、このホームページは交流会の目的でもあります「学生の教育活動」の一環として、流通情報工学科の学生がデザインし作成したものです。

皆様のご意見をお寄せください。

ホームページアドレス

<http://shinko.hiroshima-cmt.ac.jp>



会 員 紹 介

大崎上島町

☎ 725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 6625-1
🏠 0846-65-3111
✉ kikaku@town.osakikamijima.hiroshima.jp

瀬戸内海芸予諸島のうち大崎上島と周辺の有人無人の島々を擁する大崎上島町は、平成15年4月1日、「島ひとつ町ひとつ」をキャッチフレーズに、3つの町が合併して誕生しました。新町の第1次長期総合計画(2005～2014)では、『海景色の映えるまち～地域資源を活かした理想郷の実現～』と掲げ、人とのつながりが実感できる誰もが安心して暮らせる町への指標を示しています。平成22年5月1日現在の人口は8,716人、人口減少や少子高齢化を近未来のわが国の縮図と認識し、先駆けのモデルになるよう、住民との協働や産官学の地域連携によって地域づくりに取り組んでいるところです。



<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp>

株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド

☎ 呉工場 / 737-0027 広島県呉市昭和町 2-1
🏠 0823-26-2230
✉ 0823-26-2178

事業内容：船舶の建造、修理・アフターサービス、エンジニアリング事業

世界をサポートする技術

表面の3/4は海で覆われた地球で暮らす私たちは、太古より海を利用し親しんできました。そしてこれからも海と深く関わり、影響を受けながら生活していくのです。

高度な技術をますます発展させ、海を楽しむ客船・石油を運ぶタンカー・安全を守る艦艇など多くの船舶を建造することにより、世界の人々の生活をもっと豊かにすること、それが私たちアイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドに与えられた使命です。



アキ事務機株式会社

☎ 725-0021 広島県竹原市竹原町 4112
🏠 0846-22-5555
✉ yamane@akijimuki.co.jp

事業内容：事務機器、事務用品、スチール家具の販売

当社も平成22年4月をもって創業30年を迎えました。竹原市、三原市、東広島市、呉市、今治市、大崎上島町を営業エリアとし、お客様のニーズに応えるべく日々営業努力につとめております。

この厳しい経済社会の中、今後もお客様の期待に応えるべく日々努力していきたいと思っております。

会員様のご紹介や取り組みなどを順次（五十音順）、本誌面上にてご紹介いたします。
会員交流にご利用ください。

大崎汽船株式会社

☎ 725-0024 広島県竹原市港町 2-14-24
🏠 0846-22-2390
✉ oktravel@gaea.ocn.ne.jp

事業内容：旅客船、白水港

竹原港～白水港間の定期便を運航しています。
ホームページで時刻や運賃の案内をしております。どうぞご覧ください。

<http://www.oktravel.co.jp>



学校紹介

商船学科 [航海コース・機関コース]

商船学科は船舶運航技術者の育成を中核とし、併せて海事関連産業にも適応できる技術者教育を行う学科です。

本学科は、航海コースと機関コースからなり、少数による精鋭教育を行っています。4年6月間の席上課程を修了すると、1年間の航海訓練所の大型練習船（日本丸等）に乗船して外国への航海実習を体験することができ、卒業時には3級海技士（航海または機関）の海技免許に対する筆記試験が免除されます。

卒業後は海上に陸上に幅広い分野で活躍できます。



広島丸



広島丸 船橋



広島丸 機関制御室

産業振興交流会事業計画

I：地域イノベーション推進事業

- ① 地域サービス事業 公開講座・文化セミナー・出前講座等の一般市民・小中学生向けの講座です。
- ② 若手研究者助成事業 学生を含む若手研究者に対する研究助成制度です。
- ③ 地域連携研究成果発表会 教員や学生による研究成果（シーズ）発表会を開催します。
- ④ ニーズ・シーズ・マッチングセミナー シーズと産業界や地域のニーズをマッチングさせるためのセミナーを開催します。

II：産業振興事業

- ⑤ 技術相談会 産業界の抱える技術的課題に対する相談会を開催します。
- ⑥ 技術講演会 産業界や地域に参考になる講演会を開催します。
- ⑦ 雇用促進キャリアセミナー 地元就職を希望する学生やUターン希望の卒業生にキャリアセミナーを開催します。
- ⑧ 共同開発推進事業 共同研究・受託研究・助成金・補助金等の外部資金の受け入れを推進します。

III：情報発信事業

- ⑨ ニュースレター発刊 会員及び学校の紹介レターを定期的に発刊します。
- ⑩ パンフレット発刊 会の紹介・案内パンフレットを発刊します。
- ⑪ ホームページ開設 会のホームページを開設し情報を発信します。

各種のお問い合わせや技術相談は

産業振興交流会事務局（広島商船高等専門学校 総務課企画係）
〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272-1
TEL 0846-67-3199 FAX 0846-67-3009
E-mail kikaku@hiroshima-cmt.ac.jp
ホームページ <http://shinko.hiroshima-cmt.ac.jp>

本館3F西側に産業振興交流会
交流室を開設しました。

入会にご協力ください

入会をご希望の方は、事務局までご連絡
ください。申込書を送付させていただきます。

